

「写真週報」

第二次大戦中の国策情報誌。昭和13年（1938）政府は内部情報部（のち情報局）を置いて言論・報道の統制を一元的に強化する一方、A4版20ページのグラフ週刊誌を発刊し、写真という視覚に直接訴える方法を積極的に採用して国策の宣伝普及を目指しました。明確な目的で撮られた報道写真が当時の社会の空気を具体的に伝えています。終始一部10銭で市販され、昭和20年7月に終刊となりました。長期に揃って伝存している例は必ずしも多くないようです。

昭和16～17年 27点

（請求記号：E1019）



写真週報 （情報局編輯）